

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 天籟寺 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和4年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思えます。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されないことがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.21	18.86	33.79	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
本市	16.29	18.72	34.05	39.47	46.86	9.51	151.13	21.34	52.55

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31
本市	16.24	17.46	38.12	37.90	38.13	9.69	144.81	13.31	54.12

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

○男女とも運動やスポーツ好きであり、男子はスポーツクラブへの所属も多い。生活習慣については、毎日朝食を食べている児童は男女とも市平均より多いが、女子については、朝食を食べない児童の割合が多くなっている。また、テレビやゲームを視聴している時間は、女子が市の平均を下回るが、男子は市平均を上回り、視聴時間が長めとなっている。視聴時間の長いことは、学校アンケートからも把握して、保護者には通信等で生活習慣の改善を啓発してきており、今後も継続してゆく。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

○「運動好きの子ども」を目指す取り組みを続けており、体育の授業では、個人のめあてを持つことができるような学習をめざしてきた。そのため、自分の目当てをもち、振り返ることができるように「体育カード」を工夫した。成果として、運動が「好き」と答えた児童は男女とも市平均を上回り、また、児童が運動の具体的なめあてをもつことができるように「体育カード」の活用ができていた。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

○朝食をとる事やテレビ・ゲームの視聴時間の長さ等、生活習慣に課題がみられる。本調査において、運動やスポーツが大切であると答えた児童は男女とも市平均を上回っており、運動習慣の大切さを子ども達は理解している。ただ、朝食をとることやテレビ・ゲームの視聴時間の長さ等の生活習慣に課題がみられるため、今後とも学校通信、HPを利用して家庭へ啓発していく。